

広報

No. 166

くらみ

昭和62年 4月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

昭和62年度予算決まる……………	2～4
ふるさとの文化財……………	5
媒始人に感謝状……………	7
おしらせ……………	8～9
公民館だより……………	10～11
わだい……………	12



'87
4月

国見電子株式会社
大津修子さん (21歳) (森山字沖12 義隆さんの3女)

国見電子㈱は、東芝系の電子部品メーカーとして昭和44年創業以来早や18年、現在 327名の社員が厚膜集積回路(ハイブリットIC)などを製造しています。

彼女は、集積回路基盤印刷を受け持ち、職場では、仕事もテキパキとし、チャタリングで信望が厚く、とてもかわいがられています。「大変やりがいのある職場で、まわりのみんなに助けられながら働くことの楽しさを感じています」という彼女。今後一層の活躍が期待されます。

20億6,100万円

昭和62年度一般会計予算

昭和六十二年度の町予算が、去る三月十三日、町議会で議決されました。

一般会計の予算総額は二十億六千百万円で、前年度当初予算と比べると、三億七千万円の減、率にして一五・三%の減となりました。

また、特別会計のうち、公共下水道会計については前年に比べると四千四百七十七万円の減、率にして四二・二%の減となりましたが、これは、農林業対策事業が昭和六十一年度で終了し、県支出金がなくなったためです。

歳入

歳入の五三・四%を占める地方交付税は、前年度当初予算と同額の十一億円となっています。国支出金は、六九・三%減となりましたが、これは、県北中学校改築完成による国庫負担金の減によるものです。

一方、県支出金の八四・二%の増は、水田農業確立対策などと、駒場沢(天沼)ダム付替道路県負担金が主な要因といえます。町税収入は、歳入総額の二七・七%を占め、前年度当初予算と比べ五・四%の増となりました。これは、給与所得・固定資産税の伸びによるものです。

自主財源は三四・九% 歳入予算を自主財源(町が収入額を見積り、賦課徴収するなど、自主的に確保できる収入)

と、国県等依存財源(国や県などから定められた額を交付されたり、割当てられる収入)とに分けると、自主財源は、構成費で前年度より三・九%高い三四・九%となっています。



町税の内訳



税の負担

固定資産税	個人町民税
一世帯当り	1人当り
80,512円	16,671円

※昭和62年4月1日の世帯数および人口で、割りだしたものです。



▲浄化センター建設予定地

歳出

今年の歳出の割合は、表のとおりになっています。構成費の高いものからみえますと、教育費、総務費、衛生費、土木費となり、四費目で全体の六四・二%を占めています。前年度当初予算と比較して、伸び率の高いものは、土木費が二三・五%、これは、前年度県北中学校建設のため投資的経費である工事費などが要額のよ

に抑えられたための増で、次いで議会費が、特別職の報酬が四年ぶりに引き上げられたのに伴い議会議員の報酬にも波及したもので二一・七%の増となっています。減額となったものは、教育費が県北中学校建設費がなくなったため五六・四%の減、また、商工費も五・七%の減となりました。費目ごとの主なものを挙げま

総務費



▶ 国土調査事業	1,331万円
▶ 交通安全対策事業	537万円
▶ 選挙費 県議会議員選挙費	192万円
町議会議員選挙費	3,667万円
農業委員選挙費	147万円
▶ 広報く に み発行費	183万円
▶ 部落集会所改築費補助金	120万円



民生費



▶ 保育事業	6,934万円
▶ 児童手当交付金	2,439万円
▶ 重度心身障害者医療費扶助	658万円
▶ 長寿を祝う事業 (敬老会、敬老祝金など)	338万円
▶ 老人クラブ活動助成金	101万円

土木費



▶ 町道整備費	1億2,397万円
▶ 公共下水道特別会計繰出金	5,580万円
▶ 道路橋梁維持管理費	4,624万円
▶ 河川整備費	2,870万円

教育費



▶ 学校保健対策	4,649万円
▶ 義務教育施設の整備 (県北中学校校庭整備工事外)	4,572万円
▶ 社会体育の活動推進	4,424万円
▶ 幼稚園教育	517万円
▶ 公民館活動	328万円

公債費



▶ 町債元利償還金	2億2,926万円
-----------	-----------

農林水産業費



▶ 林業の整備事業	2,233万円
▶ 水田農業確立対策事業	2,201万円
▶ 伊達地域営農用地農道整備事業	596万円
▶ 松くい虫防除対策	286万円

その他の特別会計

会計名	本年度額	前年度額	比較
国民健康保険	6億2,800万円	6億2,000万円	800万円
老人保険	4億3,093万円	4億2,606万円	487万円
公共下水道	6,050万円	1億 467万円	△ 4,417万円
湧水対策施設	4,408万円	4,539万円	△ 131万円
貝田簡易水道	1,061万円	1,202万円	△ 141万円
入山財産区	730万円	341万円	389万円
育 英	621万円	642万円	△ 21万円
藤田財産区	281万円	40万円	241万円
大木戸財産区	39万円	52万円	△ 13万円

衛生費



▶ 公立藤田総合病院負担金	1億7,725万円
▶ 老人保健特別会計繰出金	2,145万円
▶ 一般住民総合検診	1,220万円
▶ 各種ガン検診、予防接種	953万円

商工費



▶ 中小企業関係預宅金	700万円
▶ 町商工会運営助成	400万円
▶ 労働者金融対策預託金	255万円

消 防 費



▶ 伊達地方消防組合負担金	7,461万円
▶ 消防車の更新・装備拡充	431万円
▶ 防火水槽の補修・消火栓の点検整備	216万円

水道事業会計

科 目	本年度額	前年度額	比較
収益的	収入	1億3,994万円	1億4,074万円 △ 80万円
	支出	1億 893万円	1億1,208万円 △ 315万円
資本的	収入	0円	0円
	支出	710万円	517万円 193万円

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額 710万円は過年度分損益勘定留保資金で補てん

ふるさとの文化財

37

村落の地名

徳江と佐野

菊池 利雄



中世における徳江・佐野郷分布図

徳江村は、半田山系に源を発する、澁川（徳江）の分派川である玉川と普蔵川が阿武隈川に落ち、西根台地の末端部から氾濫原にかけての地域に位置する村落である。

この地域は、北側を流れる澁川や、前記の諸河川によって、台地面が深く浸食され、自然の状態では極めて灌漑水の得にくいところであり、この地の農地開発に大きな役割を果たしたのは、古代の律令政府による造営をみた、東北地方でも有数の規模をもつ徳江・塚野目の条里水田をうろおしていた、玉川中流部の水口（北野野町）から堰上げられた、中江堀（徳江堀）で、徳江の地名のおこりも、この江堀の恩恵（徳）によって開発されたという意味から名付けられたものであろう。（徳江堀の築造は中世末期の天文七年（一五三六）に、伊達積宗によって作成された『伊達段銭古帳』によれば、成立した年代は明らかでないが徳江郷から分裂したとみられる佐野郷がある。

天文二十二年（一五五三）の『伊達晴宗采地下賜帳』によれば、徳江（徳江北地）と佐野（野野地）との間を流れる久保田川（南川とも呼ばれる）と南岸の地窪田は佐野郷とされ、おろ、普蔵川（佐野川とも呼ばれる）と南岸の伊達崎郷に大きく張り出した

前原と、反畑（徳江）とも呼ばれる山）の間にある土屋田は徳江郷とされることから、佐野郷は久保田川と普蔵川とに囲まれた佐野台と呼ばれる狭い地域を範域とした村落であり、佐野なる地名は、狭（さ）い野を指した地名である。（地名考）

天正十九年（一五九一）豊臣秀吉の奥州仕置により、伊達政宗は米沢城より大崎岩手山城へ移封され、伊達郡は蒲生氏郷領となった。文祿三年（一五九四）の大關原の戦いの結果を踏まえて作成された『蒲生領高目録』には佐野村の記載はなく、この段階で徳江村に吸収合併されたものと考えられる。（同前）

このように徳江は、開発地名、佐野は地形地名であり、史料などが残されていない地域の歴史や地形景観を知る上で、地名は大きく手がかりを与えてくれている。特に佐野のような集落地名は固着性が強いといわれており、周辺に集落や人々によって広く認知された場合は、容易に変化しないものであり、かつては一郷をなしていた佐野の場合でも、行政地名としては現存しなくとも、徳江地内の集落地名として根強く生き続けている。

教職員の人事異動

四月一日付（ ）内は旧任

退職

- ▽大和金三郎（森江野小校長）
- ▽安斉光雄（藤田小教頭）
- ▽畑徳祐（藤田小）
- ▽福原芳子（藤田小）

転出

- ▽福島市立下川崎小校長（小坂小校長）
- ▽湯浅伊佐夫（保原町立松陽中校長）
- ▽大木戸小校長
- ▽佐久間宗平（福島市立北信中教頭）
- ▽桑折町立釀芳中（県北中）
- ▽坂喜久次（福島市立福島四中）
- ▽高橋千鶴子（郡山市立振山神小）
- ▽千葉桂子（保原町立笠田小）
- ▽野利男（立山町立石田小）
- ▽藤田小（小磯春美）
- ▽霊山町立大石小（小坂小）
- ▽星徳弘（梁川町立梁川小）
- ▽森江野小（田辺節子）
- ▽桑折町立伊達崎小（大木戸小）
- ▽菅野恵子（梁川町立五十沢小）
- ▽大木戸小
- ▽渡辺修子（梁川町立栗野小）
- ▽大木戸小
- ▽佐藤早苗

転補

- ▽藤田小（大木戸小）
- ▽北島誠倅

転入及び新採用

- ▽小坂小校長（猪苗代町立吾妻二小校長）
- ▽安藤義吉（大木戸小校長）
- ▽岩代町立新殿小校長
- ▽星輝男（森江野小校長）
- ▽川保町立川保南小校長
- ▽大竹英智（県北中教頭）
- ▽保原町立松陽中
- ▽佐々木理（藤田小教頭）
- ▽福島市立梨平小教頭
- ▽引地正光（小坂小）
- ▽飯館村立草野小
- ▽藤田小
- ▽伊達崎小
- ▽佐藤富子（藤田小）
- ▽渡辺邦喜（霊山町立石田小）
- ▽森江野小
- ▽梁川町立五十沢小
- ▽伊勢美枝子（大木戸小）
- ▽朽木文雄（梁川町立五十沢小）
- ▽安藤まゆみ（大木戸小）
- ▽桑折町立半田釀芳小
- ▽国井千代子（大木戸小）
- ▽仲野聡美（新採用）
- ▽いわき市立小名浜二小
- ▽蓬田ひろ子（県北中）
- ▽沼町立長沼小
- ▽坂田篤彦（県北中）
- ▽西会津町立西会津中
- ▽丹治賢一（県北中）
- ▽新採用
- ▽野中ゆみ（県北中）
- ▽新採用
- ▽紺野よしえ（県北中）
- ▽岩代町立小浜小
- ▽穴沢明子

町職員の人事異動

お世話になりました



鴨田栄一さん



高橋フミさん



羽根洋一くん



佐久間茂くん



佐藤光男くん



鈴木哲也くん

よろしくお願ひします

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

退職 (内は旧任)

▽鴨田栄一 (総務課)

▽高橋フミ (藤田幼稚園)

新採用 (内は新任)

▽羽根洋一 (産業課産業係)

▽佐藤光男 (住民課福祉係)

▽佐久間茂 (税務課賦課係)

▽鈴木哲也 (総務課生活環境係)

異動 (内は旧任)

▽建設課建設係 (産業課産業係)

佐久間正 △企画課国土調査係

(建設課管理係) 菅野信朗

▽建設課管理係 (総務課生活環境係)

佐藤弘利 △産業課産業係 (住民課年金係)

引地由則 △企画課国土調査係 (税務課賦課係)

蓬田英右 △住民課年金係 (同福祉係)

引地真 △水道課業務係 (小坂小)

中山ミエ子 △小坂小 (県北中)

松浦利枝

菊地喜平さん 国政モニターに



菊地喜平さん

昭和六十二年度の国政モニターに菊地喜平さん(第十、五十七歳)が依頼されました。この制度は、広く一般国民が

ら意見や要望などをお聴きし、国政のうえに反映させることにより、行政施策のよりよい向上を図ることを目的とし、昭和三十七年六月に創設されたものです。菊地さんは、四月からの向こう一年間、当面する政府の重要施策などについて、意見や要望、また、アンケートなどに答え、国民代表の一人として活躍されます。

小坂郵便局が簡易郵便局に

業務は今まで通り



佐藤利夫さん

簡易保険については、藤田郵便局で取扱うようになっていますが、手紙、小包、貯金の出し入れなどは、従来どおり簡易郵便局で扱います。

職員は、佐藤利夫局長外一名です。地区の皆さん、今までどおりのご利用をお願いいたします。

なお電話は八五―五九二七に変更となります。

小坂にある岩代小坂郵便局が四月一日から郵便局種別改定により、簡易郵便局となりました。

媒灼人に感謝状

～農業後継者対策協議会～

三月二十七日、町公民館で、農業後継者の媒灼人を務められた人への、感謝状贈呈式が行われました。

この日感謝状を受けたのは、国見町の農業後継者の媒灼人として尽力された、町内、町外の媒灼人十五人で、それぞれが、町の花嫁不足解消に功績のあった方々です。

町農業委員会では、農業後継者対策協議会（引地孝会長）を組織し、積極的に農家の嫁不足の解消にあたってきました。

表彰式のと、懇談会が行われ、よい後継者、配偶者を確保しようと話し合いました。その中で、いつも聞かされる言葉、「嫁さんを世話してください」、また、年ごろの娘さんの家庭でも、「娘は農家でなく、勤め人にも嫁がせたい、農家は大変ですからね」などについて、皆さんから意見を伺いました。

出席者の方からは、「子供の幸せを願う親心として理解できるものの、農家の後継者に配偶者を迎えて早く安心したい、という立場は、どこの農家の親も

同じ心境である」「自分の娘を農家に嫁がせ、息子への嫁さんも世話して頂くという考えで、地域の協力を図ってこそ配偶者は見つかるのではないか」「町相談員が、親とその家族の話し合いが十分になされなくては、配偶者確保は大変難しい」などの活発な意見が出されました。

今後、相談員の活動と、一組でも多い後継者確保、カップルの誕生を願い、地域の方々の積極的な協力をお願いし、町農業後継者媒灼人への感謝状贈呈式を閉じました。



▲引地会長から媒灼人の手に感謝状が

入選

姉弟がそろって

～全日本こども美術展～



古溝 孝くん



古溝真奈美さん

三月二十一日から大阪、京都、神戸の各市を会場として行われた全日本こども美術展に出品した古溝孝くん（小坂小三年）が「推賞」に、また、姉の真奈美さんが「特賞」にそれぞれ入選しました。

二人は、昨年の二本松提灯祭りを題材とした「提灯祭り」を出品し、今回の受賞となったものです。この美術展には、全国から六七百点の応募があり、二人のほかに、「ピアノ」の佐藤稚子ちゃん（森江野小四年）が「特

駐在所の人事異動

佐藤 赴任



佐藤 調査部長

四月三日から、藤田駐在所主に、橋本さんの後任に佐藤和則 調査部長が赴任しました。

佐藤さんは、福島市出身で、桑折警察署警務一係からの転任で四十一歳。藤田地区を担当します。地区の皆さん、よろしくお願ひします。

賞」に、また、「入選」に遠藤恵子ちゃん（藤田小一年）、佐藤光克くん（森江野小一年）、八島隆記くん（藤田小三年）、遠藤祥史くん（藤田小四年）、吉田久俊くん（藤田小四年）、遠藤崇くん（藤田小六年）、古小高晋二くん（県北中一年）、佐久間正敏くん（県北中一年）がそれぞれ選ばれました。

自然の中ではくくむ 人と鳥とのコミュニケーション

愛鳥週間 ● 5月10日～16日





**国見町防霜
対策本部を設置**

町では、果樹などの農作物を
運霜から守るため、町の関係農
業団体が町防霜対策本部(本部
長、八島忠雄国見町長職務代理
者国見町助役)を、四月九日に
設置しました。

霜が降る恐れがある場合は、
本部から広報車、有線放送で広
報いたしますが、深夜にわたる
場合が多く、ご迷惑かと思いま
すが、ご協力くださるようお願い
いたします。
なお、降霜の時は重油などを
燃焼するため、黒煙が町全体に
広がる恐れがありますので、翌
朝の洗たく物などに十分注意し
てください。

選霜の被害を最少限にするた
め、町民皆さんのご協力をお願
いたします。
※期間は、四月九日から五月三
十一日までです。

防霜対策本部班編成

◎は班長				
班	氏名	電話番号	氏名	電話番号
1	◎佐藤 政弘	85-4497	◎和田 博三	85-4906
	◎佐藤 隆一	85-4340	佐藤 豊寿	85-4937
	松浦 新一	85-3958	高橋 豊	85-3377
2	◎渋谷 和洋	85-3841	◎引地 由則	85-4335
	斎藤 文浩	85-4835	賢 賢	85-4686
	佐藤 浩武	77-5222	古内 徹	85-5783
3	◎村上 健一	85-3109	◎安藤 信男	85-3385
	小池 幸精	85-3126	渋谷 康良	85-3526
	佐藤 裕一	77-3280	横山 貞良	77-4635
		85-3772	羽根 洋一	85-3707

**住民票、印かん証明書
などの手数料の
改正について**

四月一日から、住民票、印か
ん証明書などの手数料が左記の
とおり改正となりましたので、
お知らせいたします。

記

- ★住民票の写し 現行額 改正額
(除票も含む) 1150円 ↓ 1100円
※世帯全員の写しの場合、五枚まで一件とし、五枚増すごとに一件増となる。
- ★印かん証明書 1150円 ↓ 1100円
- ★印かん登録証の件数 10 ↓ 1
交付(新規登録) 200円 ↓ 200円

**青年海外協力隊
隊員を募集**

協力隊は、アジア・アフリカ
中近東・中南米・南太平洋の開
発途上にある国々に対して、経
済・社会の発展のために技術・
技能を身につけた、心身ともに
健全な日本の青年を派遣して、
各国の国づくりに協力していま
す。

協力隊では、昭和六十二年度
春の隊員を、次のとおり募集い
たします。

- ◇資格
満二十歳以上、原則として三
十五歳までの日本国籍を持つ
青年男女
- ◇願書締め切り
昭和六十二年五月三十一日
当日消印有効
- ◇選考試験(筆記試験・作文
第一次選考)

- ★戸籍附票の写し 1150円 ↓ 1100円
- ★身分証明書 1150円 ↓ 1100円
- ★公園、公簿 1150円 ↓ 1100円
- ★徴税証明書 1150円 ↓ 1100円
- 納税証明書(所得証明書など) 1150円 ↓ 1100円

**福島県立
医科大学附属病院
移転のお知らせ**

医科大学附属病院は、本年五
月末に福島市の蓬萊団地の南側
に移転します。

移転期間中(五月二十五日)
〜三十日(出)は外来診療が休診
となります。
ご迷惑をおかけしますが、ご
協力をお願いします。
一、外来休診期間
五月二十五日(月)〜三十日(出)
二、現病院での外来診療

英語・技術
昭和六十二年六月二十一日(日)
各都道府県で実施
第二次選考(面接・個人・技
術・健康診断書にもとづく問
診など)
◇派遣期間
二年間
◇応募方法
協力隊所定の願書を、期日ま
でに事務局へ提出ください。
募集説明会は、五月十一日(月)
夕方六時から八時まで、福島市
の全連会館(☎二一三二二二)
で行われます。
※なお、詳しくは青年海外協力
隊事務局(☎〇三三四〇〇一
七二六二)へお問い合わせく
ださい。

**保険料額が
変わりました**

四月から七千四百円に
国民年金の保険料は、四月か
ら月額七千四百円になりました。
(付加保険料は今までと同じ四
百円)

平均寿命が伸びるとともに年
金の受給者が増え、また、物価
スライドによる年金額の引き上
げで、支払いに要する費用は年
々増加しています。
国民年金制度を将来とも安定
したものとするためには、保険
料の額もつりあいのとれた額で
なければなりません。

加入者の皆さんがお年寄りに
なったときも、安心して生活を
おくれるようにするため、保険
料の引き上げにご理解とご協力
をお願いします。

五月二十三日(出)で終了します。
三、新病院での外来診療
六月一日(月)から開始します。
四、移転先
福島市光が丘一丁目(旧福島
市松川町浅川内一)
☎四八二二二二
(五月二十八日から)

「若人の翼」 団員を募集

一、募集人員

- 欧州派遣（Iコース）
班長三名 団員十五名
- 欧州派遣（IIコース）
班長三名 団員十五名
- 南米派遣
班長二名 団員十一名
- 中国派遣
班長三名 団員十五名
- 韓国・東南アジア派遣
班長三名 団員十五名

二、応募資格

県内に居住している青年で、次の要件のすべてを満たす者。
（一）生年月日
○欧州、中国、韓国・東南ア

アジア派遣

- 班長
昭和二十六年四月二日から三十二年四月一日までに生まれた者
- 団員
昭和三十三年四月二日から四十二年四月一日までに生まれた者

○南米派遣

- 班長
昭和二十六年四月二日から三十二年四月一日までに生まれた者
- 団員
昭和二十九年四月二日から四十年四月一日までに生まれた者

（二）社会参加活動

班長については、青少年活動にかかわる優れた青年指導者であること。

戸籍の窓口

（3月受付分）

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部落	落
望（のぞみ）	高橋昭一	耕十	谷野西二
之（まさゆき）	菊地利夫	耕十	谷野西二
介（ゆうすけ）	八巻秋夫	耕十	谷野西二
実（いづみ）	谷津光昭	耕十	谷野西二
紀（ゆうき）	片平節男	耕十	谷野西二
透（とおる）	黒田明	耕十	谷野西二

結婚おめでとうございます

氏名	部落
大沼隆雄	耕谷市
國島美紀子	耕福島

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部落
三木武雄	78	山崎
木村キクノ	69	川内
根根ハツイ	72	山根
藤野ウメ	73	内東
田部富次	73	内東
佐野ユキ	79	内東
菅原ユフヂ	78	内東
阿部清一郎	75	内東
渡村芳末	70	内東
村後本	75	内東

町民税の所得の申告は、お済みでしょうか。行っていない方は、今すぐ申告を願います。（税務課からお知らせ）

国民年金保険料 申請免除について

保険料を納めたくても家計が苦しくて納められないとか、失業や災害などで納めることができない人は、その保険料が免除される制度もありますので、納められない方はその事情（前年度の所得、医療費など）を記入した申請書を提出し、知事の承認を受けてください。
なお、申請用紙は役場にそなえてありますので、印かん、その他必要と思われる書類を持参の上、住民課年金係にご相談ください。

人口と世帯

4月1日現在(前月比)3月中のうごき

男	5,791人 (-5)	転入	59人
女	6,209人 (+3)	転出	56人
計	12,000人 (-2)	出生	7人
世帯数	2,892戸 (+4)	死亡	12人

◆4月の納税
◆4月健康保険料
◆4月国民年金料
◆4月固定資産税・国
民健康保険料
◆4月（30日）の納税の
よう納税し、
明るい町をつくりまし
よう。

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室（東側入口からお入り下さい）
時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。
〔相談員〕
4月25日（土） 斎藤 光夫・薬瀬 貞子
5月6日（水） 菅野 賛郎・高野 時子
5月15日（金） 樋口 清三・高橋 恵子

4月 卯月（うづき）	5月 皀月（さつき）
18日（土） 発明日	1日（金） メーカー
20日（月） 穀雨	3日（日） 憲法記念日
通信記念日	5日（火） こどもの日
郵便週間	10日（日） 母の日
29日（水） 天皇誕生日	愛鳥週間



新年度にむけて

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

生涯学習の体制づくり、町民
憲章の具現化、世代間の交流を
図りながら、心の通い合う町づ
くりを推進することを目標とし
て、活動の推進に努力をいたし
ています。

今年度は、各学級、講座の学
習内容の充実を図ることはもち
ろろ、少年教室、高齢者向けの教
室、及び講座については特に力
を入れて、活動を進めて参りた
いと思います。



▲阿津賀志学級「寿祝い」風景



▲高齢者と婦人の運動会風景



▲乳幼児学級学習風景



▲母と子の公民館活動風景

◆課題

一、国見町の公民館活動は、町
民の要求課題にはある程度答
えていますが、必要課題であ
る学級によっては、希望者が
少なく開講できない状況にあ
ります。

◆予算

今年度も昨年同様地方財政を
取りまく状況は厳しく、一層の
改革をせまられる中において、

今後工夫をいたしまして、
これらについては、開講でき
るよう努力をして参りたいと
思います。

二、地域における「生涯学習指
導者」が不足しています。
身近なところで、身近な人
が集まり、身近な人に手ほど
きをしていただき、町民一人
ひとりが、趣味、特技を伸ば
して、楽しい生きがいのある
暮らしができるように、身近
な指導者の確保、育成に、努
めて参りたいと思います。

◆事業

公民館の通常経費（人件費は別）
は前年度同様約三千五百万円、
事業費として町営グラウンドの整
備に二千七百万円が確保されま
した。

生涯にわたって豊かな人生を
送ることは、町民だれもの願い
であります。

町民一人ひとりが、各年令期
に必要な学習がなされ、趣味を
伸ばし、教養を高めることが大
切であります。

委員会開催される

三、特に高齢化社会に対応する
条件整備に努力をしたい。

町民の学習要求と、町民に対
する学習課題を総合的にとらえ、
生涯学習の推進を図るための方
策としての、今年度事業計画を
作成いたしました。

その概要は次ページのとおり
です。



▲活発な意見が出た委員会

三月二十五日午後一時三十分
から、公民館で町社会教育関係
者委員の合同会議が開催されま
した。

この合同会議は、社会教育委
員、文化財保護審議委員、公民
館運営審議会委員により開かれ
ました。

最初に各委員会毎に分科会が
行われ、委嘱期間中の反省をい
たしました。

続いて各委員会より、要望、
意見などの報告がありました。

最後に佐藤教育委員長から、
社会教育に尽力されている各委
員の方々へ感謝の意と、本日の
合同会議が住みよい町づくりの
一助となつたいとあいさつがあり
終了いたしました。

昭和62年度 公民館主要事業一覽

領域	事業名	開設の目的(わらい)	対象者	人数	期間	回数	曜	時間
会 議	公民館運営審議会	館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき調査審議する	公民館運営審議会委員	20	随 時	年3回	不定	不 定
	体育指導委員会議	社会体育、スポーツの振興を図るため指導助言を行う	体育指導委員	15	随 時	不 定	◇	◇
青 少 年	少年仲間づくり教室	小学校の中・高学年を対象として、協力活動によって豊かな心と奉仕の精神を養うと共に郷土を理解させ、こども会などのリーダーを育成する	小学生 4年～6年生	50	6～2月	年13回	日曜 及び 休日	◇
	母と子の公民館活動	子どもの情操をより豊かにし、明るくすこやかに成長するよう母と子が一語になって読書、創作活動を行う	主として小学1年～3年生の児童とその母親	参加者全員	4～3月	1ヶ所 年12回	不定	◇
	青年学級	新しい仲間をつくるとともに青年としての自覚を深め、自己の能力、エネルギーを社会のために役立てる	町内に居住及び町内に勤務する18歳以上の未婚の青年男女	40	4～3月	毎週1回 66回 その他自主活動(スポーツ)	木曜	19:30 ↓ 21:30
家庭教育	乳幼児学級	乳幼児をもつ家庭の機能と役割、内容について理解すると共に親としての教養を高めながら、子どもの健全な成長を促がすための学習をする	乳幼児をもつ母親または祖母など	25	5～12月	10回 (20時間)	水曜	13:30 ↓ 15:30
婦人教育	中央婦人学級	急激な社会の進展に伴い主体的学習をとおして仲間づくりを体験し連帯感を高め家庭生活の中心的役割を担い住みよい豊かな地域社会づくりに貢献する	町内に居住する婦人	40	5～2月	15回 (38時間)	水曜	9:30 ↓ 11:30
成人教育	成人学級	現代社会に対応できる知識や教養を主体的に習得し、明るく豊かな生活をめざし、生きがいのある町づくりへの資とする	町内に居住する壮年男女	40	5～2月	12回 (36時間)	水曜	13:30 ↓ 15:30
高齢者教育	阿津賀志学級	現代の多様化する社会を理解し心身の健康を保ち教養を深め趣味を豊かにし生きがいを高める	町内に居住する60歳以上の男女	希望者全員	4～2月	20回	金曜	9:30 ↓ 11:30
全 人	読書活動 (移動巡回文庫)	町民に読書の機会を提供し良書の普及と読書を通じて豊かな教養と知識を養い、健康で明るい豊かな生活、明るくい家庭、町づくりを図る。読書の習慣、日常生活化を図る	全 町 民		4～3月	年4回	不定	不 定
教 育	町民学校 (継続的)	専門的、趣味的教室などを開設し町民の教養、趣味を高め生きがいの糧とする	一般町民 (成人者)		6～3月	年4～6科目 1科目 4～6回	◇	◇
	町民講座 (単発的)	日常生活に係る知識、よい習慣行事などを継承し、うるおいのある生活をおくるための学習をする	◇		6～3月	年4～6講座(1～2回)	◇	◇

わ
だ
い



栄えある 消防庁長官表彰



岡崎長平さん



佐藤忠美さん



後藤昌伸さん

この度、本団教養分団長の岡崎長平さん（藤田字中沢）、第二分団長の佐藤忠美さん、藤田字天王畑）、第四分団長の後藤昌伸さん（川内字内上）に、栄えある消防庁長官表彰、永年勤続功労賞が贈られました。

三月二十八日、幹部会議の席上、八島忠雄町長職務代理者助役から、賞状が伝達されました。今回の受賞を契機として、よりいっそう町消防団発展のため、尽力されるようお願いいたします。

正しい通学の仕方学ぶ 小坂スポーツ少年団

小坂スポーツ少年団の、ソフトボールの指導をしている後藤直一さん（鳥取字大門一七三十八歳）は、毎年、中学校になる団員に、交通事故にあわないよう正しい自転車の乗り方の指導をしています。

三月十八日、小坂小学校に集合した団員十数人は、後藤さんの先導で、信号機のある場所での自転車の横断の仕方や、狭い道から広い道に出る時の注意など、各交差点で確認しながら県北中学校までの往復を实地訓練しました。

四月から、新中学生となる団員たちは、後藤さんの、「ここまで来るまでに、教わったことをきちんと守れば、交通事故に遭わずに通学できます。」とのことばに、熱心に聴き聞いていました。



▲後藤さんの注意を熱心に聴く団員たち

発掘調査すすむ

塚野目六号墳の発掘調査が、桑折町教育委員会の手により、土地所有者と地元の人々の協力で、三月十七日から行われています。

この古墳は、八幡塚古墳に代

表される塚野目古墳群の一つで、桑折町伊達崎字錦塚にあり、国見町との境に接しています。以前、この古墳からは、金環銀環・ガラス土玉・須恵器などの副葬品が出土しており、今から約千五百年前の古墳時代後期のものとされ、今回の調査で、全長二十七メートルの前方後円墳であることが確認されています。

信達盆地最大といわれるこの古墳群には、ほかにも数多くの古墳が残っており、県北地方の古墳文化を知る上で重要な地域です。今後の整備、保存に、町民皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



▲暑々と進む発掘調査

編集日記

▼日一日と暖かさが増し、ようやく春本番となりました。桜前線も北上を続け、本紙が皆さんのお手元に届くころは、ちょうど見ごろとなっていることでしょう。

▼私も早いもので、広報を担当して五年目を迎えました。今年度は、町民の皆さんの見やすい広報紙をつくりたいと思っております。また、できるだけ早くご家庭へ広報をお届けできるよう頑張りたいと思います。皆さんからのご意見・ご要望などありましたら、どしどしお寄せいただきたいと思います。

▼今月号から、表紙に、会社の紹介も兼ね、町で働く若い女性を紹介いたします。職場でさわやかに働くお嬢さんの姿をカメラで撮ります。四月一日から、企画課の場所が変わりました。課の人数が増えて、今までのスペースでは狭く、下水道課と交換となり、二階東側に移りました。今までと違ってとてもスペースが広く、大変満足しています。これなら今までの以上の立派な広報ができるのでは………とほりきっています。が、さて、その成果はいかがなものか………？